

2025

令和7年11月25日

第24号

(通算183号)

IBARAKI Prefectural Junior College of Industrial Technology

IT短大VIEW!



1 LED工作、光ったよ！



11月23日(日)、下大野公民館で「第24回下大野サ皆コーエマツリ」が開催され、地域の皆さんが多い数訪れました。開会式で、来春開校する「情報テクノロジー大学校」をご紹介させて頂きました。

本校のブースは、LEDの電子工作とレゴブロックによる野球ゲームを展示しました。

小学生が体験に参加した母親は「難しそうだったけど、子供は光って喜んでいる」と笑みを浮かべていました。

2 みんなの母校訪問：太田一高

県立太田第一高等学校から、毎年多数の卒業生が本校に進学しています。11月6日(木)に、卒業生の本校での学びの様子を先生方に報告してきました。谷津 勉校長は「卒業生が成果を出していて嬉しい」と笑顔で話されていました。



3 『記事トレ』紹介

本校では、IT専門力に加え社会人基礎力の向上のため『記事トレ』を実施しています。新聞を読み、要約とIT技術者としての感想を書くトレーニングを通して読み解く力を育成します。

＜記事トレ＞読売新聞(2025年10月22日)

編集手帳

人生には三つの坂がある・・・

●藤田彪吾さん(土浦工高卒)

◇要約：人生には三つの坂がある。104代首相に高市早苗氏が選ばれた。今回は「まさか」が多く、小泉氏が敗れ、公明党の連立脱退などが挙げられる。

一時かわいそうとまで言わされたが、高市氏は急坂を上り切ったのは間違いない。その強運を国づくりに生かしてほしい。

◇感想：私も、今回の総裁選で高市氏が選ばれたことは「まさか」と思ったが、その坂を乗り越えたことは凄いと思った。

私も高市氏を見習い、自分自身の力で坂を上るよう、細かな生活習慣を変えるなどして心身ともに向上したいと思った。

●水地穂吏さん(常磐大高卒)

◇感想：新しい首相となった高市氏の政策への期待と、これから世の中の変化が「まさか」のスピード感で進むことが感じ取れた。高市氏はデジタル主権やサイバーセキュリティを重視する姿勢なので、からのIT業界が進展するのではと考えた。

●絹張 涼さん(鉢田一高卒)

◇感想：人生には三つの坂がある。上り坂、下り坂。高市氏は「まさか」をその強運で上りきったことは国づくりを行う上で非常に大きな進歩だと考える。

新政権で内外に課題が多いが、対処して政策遂行の体制を整えているので、将来に期待を持っている。



●磯崎 立さん(笠間高卒)

◇感想：この記事は、人生の変化について良く表していると思った。それは三つの坂のうち「まさか」という予想もしないことが起こることは、どんな人生にもあると感じたからだ。IT技術者として「まさか」も意識し、IT技術を役立てていきたい。

●相田泰我さん(水戸商高卒)

◇感想：高市早苗さんが、「かわいそう」と言っていたが、首相に上り詰められた姿に強い意志を感じた。ITの分野でも困難や偏見に負けず挑戦し続ける姿勢が大切だと感じた。ITの技術力で社会をよりよくする強さを持ちたいと思った。

